誰もが安心して暮らせる　ふくしのまちづくり

ひらかた 社協だより

第116号
平成24年6月1日

発行者／社会福祉法人枚方市社会福祉協議会　ふれあいネットワーク
編集／社協だより編集委員会　〒573-1191　枚方市新町２丁目1-35
枚方市立総合福祉会館「ラポールひらかた」内 ☎844-2443 FAX845-1897

もくじ

- ホームページリニューアル　1
- 住民会員募集のお願い　2
- 平成24年度事業計画・予算　3
- 小地域ネットワーク　4
- 経営戦略プログラム（第2期）5
- 社協からの情報掲示板　6･7･8
- 求人情報　8

「伝える！」にこだわります!!

平成24年4月1日から、枚方市社会福祉協議会公式ホームページのリニューアルを行いました。よりタイムリーな情報提供と、運営の透明性を図っていきますので、ぜひアクセスしてください。

URL：http://www.hirakata-shakyo.net

広報は、さらに進化します!!

枚方社協では法人の広報機能を、さらに高めていくために、公式ホームページのリニューアルを行いました。また、同様に本会が運営する枚方市ボランティアセンターのホームページもリニューアルしました。社協ホームページは4月1日から、ボランティアセンターは6月1日から公開しています。

福祉やボランティアに関する多くの情報をできるだけ早く効果的に掲載していくとともに、今後は情報の双方向化の導入や災害時でも有効にはたらく仕組みの構築にも挑戦していくことを考えています。

ボランティアセンターホームページのアドレスが変わりました
変更前：http://www.hi-volo.com
変更後：http://www.hirakata-shakyo.net/vc

平成24年度 住民会員募集 ご協力をお願いします！

昨年度は、東日本大震災や台風12号豪雨災害が発生。大規模災害による被害が相次ぐ中、全国的なボランティア活動が積極的に展開され、人と人、人と地域の絆が見直された１年だったと思います。このような中、地域のみなさまにおかれましては、引き続き本会の住民会員募集に多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

本会は「誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり」の理念を掲げ、地域福祉を中心とした多くの事業に取り組んでいるところです。また、長年にわたり皆さまからお寄せいただいた会費を有効に活用することにより、枚方市の地域福祉活動を少しずつ広げてきました。これまで続けられてきた住民会員制度が、枚方市の地域福祉の基盤となっていることは間違いありません。

さて、昨年度の「社協だより」でお約束したとおり、本会に寄せられる「会費の使い道が分かりにくい」というご指摘を重く受け止め、経理の改善を行い、住民会費の収支を独立して扱うこととしました。平成23年度の使い道は下表のとおりです。枚方市のさらなる地域福祉の推進を図るため、今年度もご協力をお願いいたします。

募集期間　7月1日～7月31日（強化月間）

地域福祉のための最も身近なボランティア

会員の種類	会費・協力金の額	
住民会員	年額　1口	500円
特別住民会員	入会時のみ	20,000円
法人賛助会員	年額　1口	10,000円
福祉協力金		500円未満

昨年度の使い道は？

平成23年度会員募集の実績は
22,303,032円

（注）使い道の中の法人運営経費については、住民会費の中でも社協に直接寄せられた法人賛助会費を充当しています。

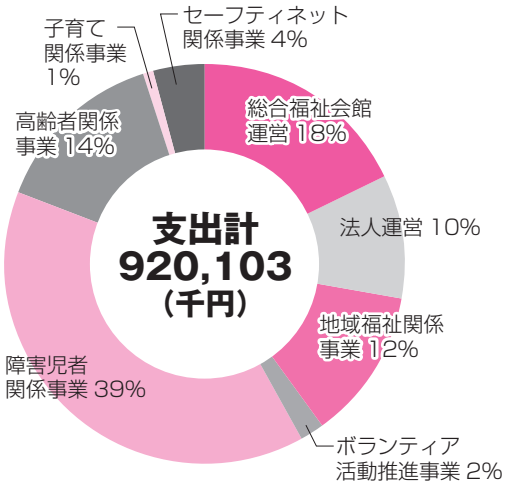
校区福祉委員会活動助成（45校区）	10,242,468円
校区福祉委員会協議会運営費	286,420円
ひとり暮らし老人会活動助成	420,000円
福祉団体活動助成	100,000円
北河内ボランティアセンター助成	100,000円
ボランティアアドバイザー活動助成	1,437,000円
ボランティア保険料助成	339,500円
枚方ふれあいフェスティバル開催助成	400,000円
ひらかた社協だより印刷配布費	5,804,565円
社協紹介リーフレット作成費	231,000円
枚方市ボランティアセンターホームページリニューアル費	215,880円
会員募集事務経費	1,086,653円
法人運営経費（注）	760,000円
次年度繰越金	879,546円
合　計	22,303,032円

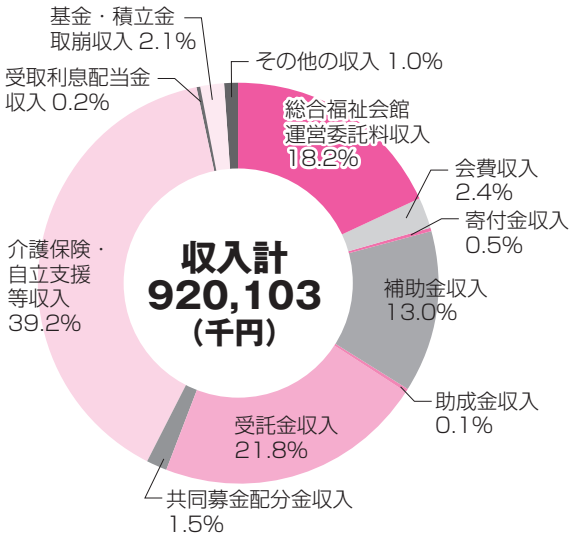
平成24年度 事業計画・予算

重点目標

1．経営戦略プログラム（第２期）の実現に向けた取り組み
2．地域福祉活動の推進（第４次地域福祉活動計画の推進）
3．福祉サービス利用援助事業利用希望者の待機解消
4．相談支援事業のさらなる充実

予算総額　９億2,010万3千円





枚方市社会福祉協議会は、「誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり」という理念を実現していくための平成24年度予算を編成しました。今年度から、平成24年３月に完成した「経営戦略プログラム（第２期）」で示した７つの目標を進めていきます。その中でも緊急のものとして、年々、市民からのニーズが高くなっている高齢者や障害者等に対する権利擁護に関する相談に対応するための予算を強化しています。また、障害者・高齢者福祉サービス部門においては、利用者主体を原則としながら、事業の安定的な運営をめざします。

支出の概要

地域福祉推進のために　1億1,025万3千円
校区福祉委員会による地域福祉活動の推進
コミュニティソーシャルワーカーによる相談事業
各種福祉団体等の事務局支援など

ボランティア活動のために　1,845万7千円
ボランティアセンター運営
災害時要援護者避難支援事業など

総合福祉会館（ラポールひらかた）の管理運営　1億6,758万1千円
指定管理者としてラポールひらかたの管理や、各種講座等を実施

法人運営のために　8,961万1千円
法人のための事務費・職員人件費や広報費など

障害児・者福祉のために　3億6,192万2千円
ホームヘルプ・ガイドヘルプ事業
くすの木園の運営、地域支援センターゆいの運営
ケアホーム・グループホームの運営など

高齢者福祉のために　1億2,777万2千円
総合福祉センターの運営
地域包括支援センター（２カ所）の運営など

子育て支援のために　1,010万6千円
乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の運営
父子家庭日常生活支援事業

セーフティネットのために　3,440万1千円
生活福祉資金・総合支援資金の貸付
福祉サービス利用援助事業、住宅手当など

地域の福祉最前線

校区福祉委員会

～小地域ネットワーク活動～

菅原東　ニーズに応えて　パソコン教室スタート

菅原東校区福祉委員会（宮原保子会長）が運営をサポートしている「ぶらっとホームすがはらひがし」は、今年度から校区の住民を対象に、個人指導のパソコン教室を開講しました。

菅原東校区では、校区コミュニティ協議会を基盤に「NPO法人すがはらひがし」を設立。常設サロン「ぶらっとホーム」を設置し、誰もが集える憩いの場として運営しています。

まずは、パソコン教室開講に先立って講師を招き、福祉委員会役員、ボランティアを対象としたスタッフ育成講座を10回にわたって実施しました。以降は毎週月・火曜日をパソコン教室の日とし、福祉委員会スタッフが講師として受講者の指導を行っています。

4月23日の講座は11人が参加。熱心な様子から「パソコンを学びたい！」という熱い思いが伝わってきました。講師となっている福祉委員会のみなさんの思いも加わり、とても良い雰囲気の教室となっていました。参加者は「この教室に参加したのは自宅のパソコンを活用しようと思ったから。学んだことを生かして練習に励みます。学びたいという気持ちはとても大切ですね」と喜んでいました。福祉委員会の久野書記は「月・火曜日はパソコンの日として根付かせたい。今後もスタッフを養成してニーズに応えていきたい」と話していました。

講師の話に集中！

●問い合わせ
ぶらっとホーム　すがはらひがし
☎859-5005

五常　地域で進む子育て支援

五常校区福祉委員会（宮路美佐会長）では、4月26日に、さくらぎ街集会所にて子育てサロンを実施。

当日はあいにくの雨模様でしたが親子17人の参加があり、校区福祉委員会のスタッフによるリズム体操で元気よくスタートしました。体操で程よく体を動かした後には、親子で鯉のぼりの工作。フリータイムでは、親同士が交流を深め、その後も紙芝居や子育て情報の提供など、内容が盛りだくさん。サロンの企画・運営は全てスタッフによる手作りで、現在は年間6回の子育てサロンに加えて年3回ベビークラスのサロンも行っています。

宮路会長は「子育てサロンをきっかけにして親同士のつながりの輪ができればいいと思います。これからもスタッフみんなで力を合わせてがんばっていきたい」と話していました。

参加者、スタッフともに楽しく

自殺予防相談専用電話　**ひらかたいのちのホットライン**

☎ 861-1234
相談日時 月・水・金曜日の
午後1時～8時

4月から相談日時が増えています！！

不安や悩みを抱え、自殺を思い悩んでいる人の気持ちに寄り添い、悩みに耳を傾けます。一人で悩みを抱え込まずに話してみませんか？専門の研修を修了した相談員が、お話をお聴きします。

地域の福祉お助けマン！ CSW コミュニティソーシャルワーカー

「いきいきネット相談支援センター」ではCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が日々、福祉に関する様々な相談に対応しています。来所、電話、メール等いろいろな形での相談を受けていますが、それ以外にも出張相談を行っています。

そのひとつとして、毎月第2日曜日に開催されている「ひらかた宿くらわんか五六市」（枚方市駅～枚方公園駅の枚方宿歴史街道で実施）での出張相談会があります。「ちょっと聞きたいことがあって…」「五六市に来たついでに」と気軽に立ち寄れる相談窓口を作ろうと平成22年11月から実施しています。相談時間は午前10時～12時、「福祉なんでも相談」の看板を掲げています。その場での相談だけでは困難な場合は後日改めて相談いただくことも可能です。まずは気軽にお立ち寄りください。

●問い合わせ
枚方市社会福祉協議会　地域福祉課
☎844-2443
枚方人権まちづくり協会
☎844-8866

こんな時どうすれば・・・

○○歳代でひとり暮らしのA氏が大声を出して町中を歩いている。また、家にもゴミが散乱している様子。

CSW に相談

相談者の状況をじっくり聴きとって対応します

民生委員と一緒に訪問。A氏の思い、要望などを聴きとり、ご本人の了解を得た上で保健所職員と再度訪問。精神科を受診することに。主治医、医療ソーシャルワーカーとも連携しながら地域で生活できるように見守り、支援を継続する。

さらなる「安心」「発展」「信頼」をめざします

～経営戦略プログラム（第２期）を策定～

枚方社協は、昭和26年に設立し、平成23年度に設立60周年を迎えました。設立以来、公共性・公益性の高い団体として行政機関、地域住民組織、関係団体などと連携し、地域福祉の推進を目指してきました。以前に比べ社会を取り巻く状況は大きく変化し、人口の減少や核家族と少子高齢化による老老介護や単身世帯の増加など、地域における問題も多様化しています。このような中、社協が果たす役割や存在意義を改めて意識するとともに、理念を踏まえ市民の皆さまの安心を支える組織として、事業の充実、財務・組織の強化を図るため、経営戦略プログラム（第２期）を策定しました。

皆さまとともに！

本会が目指すもの

枚方社協の経営理念

誰もが安心して暮らせるふくしのまちづくり

取り組みにあたっての２つの視点

1．さらなる地域福祉の推進を図るための法人経営
2．市民から信頼される組織づくり

達成すべき７つの目標

事業戦略

1．効果的・効率的な事業実施と意義・役割に即した事業展開
実施事業のさらなる質の向上と新しい事業への取り組みを進めるとともに、本会が担うべき意義と役割を再確認します。

2．地域福祉を推進する団体としての連携の強化
地域の多様な住民組織や団体、行政、福祉事業者との、より一層の連携を進めます。

組織体制の基盤整備

3．法人ガバナンスの強化
安定した法人経営が行えるよう、理事会に法人経営の専門家の参画を求めるなど、法人の意思決定を行う理事会のさらなる強化を行います。

4．役割と規模に応じた事務局体制の構築
担うべき役割や組織の規模を踏まえ、多様な任用形態の職員体制により総人件費を抑制するとともに、効率的な事務局体制を構築します。

5．活動内容や経営状況の積極的な情報発信
活動内容や経営状況を広く市民や地域団体等に分かりやすく伝え、活動や経営状況のより一層の透明化を図ります。

財務基盤の確立と基金・積立金の再構築

6．財務基盤の確立
安定した事業運営に必要な財源の確保と、適切な財務管理、経営管理能力の向上を図ります。

7．地域福祉推進のための基金の有効活用
一層の地域福祉を推進していけるよう基金の設定目的や活用等を見直し、透明性を重視した基金の有効活用を行います。

社協からの情報掲示板

平成24年度活動分 ボランティアグループ活動助成金を募集します

赤い羽根共同募金、地域歳末たすけあい募金の配分金により、枚方市を拠点に活動する福祉ボランティアグループに対し助成金を交付します。希望する団体は、以下の要領でお申し込みください。

対　象　市内を拠点に活動する福祉ボランティアグループ
対象期間　平成24年４月１日～平成25年３月31日
申　請　６月１日～25日に所定の申請書と必要書類を提出してください。（各書類は、社会福祉協議会窓口で配布及び社会福祉協議会公式ホームページ、ボランティアセンターホームページよりダウンロードで入手してください。）
決　定　助成団体の上限（70団体）を超えた申請があった場合は選考を行います。
助成金額　１会につき上限30,000円
受付時間　月～金曜日、午前９時～午後５時30分

●申込み・問い合わせ
枚方市社会福祉協議会　総務課
☎ 844-2443　FAX 845-1897
社会福祉協議会ホームページ
http://www.hirakata-shakyo.net
枚方市ボランティアセンターホームページ
http://www.hirakata-shakyo.net/vc

障害者と健常者の交流の場 第33回枚方ふれあいフェスティバル

テーマ「おこそう枚方の新しい風」

日　時　**６月３日（日）**　雨天決行
午前10時～午後４時
会　場　市民会館大ホール・岡東中央公園一帯

【市民会館大ホール】
映画「忍たま乱太郎」（字幕つき）

入場無料

～当日、直接会場へおこしください～

上映時間 **①午前10時30分　②午後１時**

【岡東中央公園】
子ども広場・紙すき・木工体験・車いす体験コーナー・模擬店いろいろ・和太鼓・バンド演奏など

【市民会館】
人形劇・クッキー教室・ふれあいカフェ

●問い合わせ
枚方ふれあいフェスティバル実行委員会
☎ FAX 813-7782
枚方市社会福祉協議会
☎ 844-2443　FAX 845-1897

第22回ふれあいスポーツ交流会

スポーツを通して、障害のある人もない人も多くの人たちと交流しませんか？参加者とともに運営のお手伝いをしていただけるボランティアさんも募集しています。

日　時　７月７日（土）
午前10時～午後３時（雨天でも行います）
場　所　枚方市立総合体育館
対　象　枚方市内在住・在職・在学の15歳以上で障害のある人
種　目
（個　人）　短距離走・クッキー食い競争・宝探しレース
（ペア種目）　二人三脚・電車でゴー・でかぱん競争
（団体種目）　バケツリレー・玉入れ

参加費　300円（参加賞・保険代込み）
※ボランティアについては参加費無料、昼食があります

●申し込み・問い合わせ
地域支援センターゆい　☎808-2422　FAX 808-2423

人間を救うのは、人間だ
あなたの善意を赤十字に

日赤社員増強運動にご協力お願いします。

日本赤十字社は国内はもとより全世界の平和と福祉増進のため、人道を旗印に各種事業を実施しています。日本赤十字の創立記念日である５月１日から２か月間を赤十字運動月間として、地域の皆さまの協力のもと、社員増強運動を行っています。皆さまのご協力をお願いします。

平成23年度赤十字増強運動の実績
16,454,950円（最終確定額）

加入社員によって納められた社資は、災害救護活動や献血推進など社会福祉の増進に大きな役割を果たしています。

●問い合わせ
枚方市赤十字奉仕団事務局
（枚方市社会福祉協議会　地域福祉課）
☎844-2443　FAX 845-1897

手作りおもちゃ講習会

アンパンマンの時計で遊ぼう（布の絵本）

アンパンマンの12キャラクターで作ります。取り外しできますので自由に並びかえができますよ。

日　時　7月12日（木）午前10時～12時
場　所　ラポールひらかた　4階大研修室
定　員　40人
（応募者多数の場合は抽選となります）
参加費　1,000円
持ち物　ボンド・さいほうセット・ハサミ・筆記用具
申込み方法
往復ハガキに ①住所 ②氏名 ③電話番号 ④保育の有無を記入し、6月15日（必着）までに送付してください。
④が必要な場合は、子どもの名前と年齢を記入してください。
※保育は20人までです。

●送付先
〒573-1191
枚方市新町2-1-35　枚方市社会福祉協議会内
枚方市ボランティアセンター「手作りおもちゃ講習会」係

この夏、心の世界を広げよう!!
～ 誰でも、どこでも、楽しくボランティア!! ～

夏休みを利用して、ボランティア活動を始めてみませんか？

体験プログラムは、子どもから社会人、高齢者など、誰もが参加できるプログラムになっています。福祉施設や保育所などのお手伝いだけでなく、夏祭りなどの行事を手伝ってもらうこともあります。この機会にボランティア活動を通じてたくさんの人と出会い、自分の世界を広げてみてください。

実施期間　7月2日～8月31日
プログラムの配布時期　6月中旬から
プログラムの配布場所
枚方市ボランティアセンター・ラポールひらかた・各生涯学習市民センター
申込み方法
プログラムを見て活動先を決め「専用申込書」に記入した上で、返信用封筒（80円切手貼付）を添えて、ボランティアセンターまで持参してください。

～つながるひろがるボランティア～　**枚方市ボランティアセンター**
☎ 841-0181
FAX 841-0182
枚方市ボランティアセンター　検索

夏休み児童映画大会「マジックツリーハウス」（字幕つき）

日　時　**8月21日（火）**
上映時間　1回目
午前10時30分～（開場9時45分）
2回目
午後1時30分～（開場12時45分）
場　所　市民会館大ホール
入場料　**無　料**
対　象　市内在住の幼児・児童とその保護者
※保護者が市内在職でも可
申し込み　必要ありません
当日、直接会場にお越しください

主　催
枚方市民生委員児童委員協議会

●問い合わせ
枚方市社会福祉協議会　地域福祉課
☎ 844-2443　FAX 845-1897

その他の催し
◆手遊び歌（民生委員による）

お知らせ
■電話予約などの事前予約は個人・団体を問わず行いません
■各回、先着1,300人です
■大人単独での入場はできません
■整理券配布時間（予定）
1回目：　9:30
2回目：12:30
■駐車場がありませんので、公共交通機関でご来場ください
■会館は全面禁煙です

枚方市福祉就職フェア2012

「介護・福祉のお仕事」をしようと考えているみなさん

全国の福祉をリードし、様々な人材を輩出してきた枚方市の施設が就職フェアを開催します。地元で就職をお考えの方、より良い介護の実践を目指していきたい方、自ら積極的に活動したいアクティブなあなたをお待ちしています。

日時　７月７日（土）午後０時30分～４時
場所　ラポールひらかた
対象　平成25年３月卒業予定者、既卒者、中途採用希望者
主催　枚方市施設長会
協賛　大阪府福祉人材センター、ハローワーク枚方、枚方市
後援　枚方市社会福祉協議会
参加施設　枚方市内 社会福祉法人 特別養護老人ホーム等 約13法人

午前11時から、フェア直前対策講座を行いますので、ぜひご参加ください。

●問い合わせ
大阪府社会福祉協議会　老人施設部会
☎06-6762-9001

枚方市総合福祉センターイベント
漆喰（しっくい）のシーサー作り

沖縄の左官屋さんが、赤瓦屋根を葺いた後、余った材料でシーサーを作り、屋根に据えたのが始まりです。雨の日も風の日も、強い日照りの中でも、じっと屋根の上から見守るシーサー。風化し苔むしていく姿は趣があり、頼もしくもあります。一度体験してみませんか。

日　時　７月７日（土）午前10時40分～午後２時30分
（乾燥させる必要があるため作品は後日取りにきていただきます。）
内　容　午前中は成形、午後は色つけを行います。
場　所　総合福祉センター第６会議室
対　象　市内在住、在職、在学の人
小学校低学年は保護者同伴。高学年はお友達と一緒でも参加可能。
参加費　１人1,500円（1個）
親子で２個作られる場合は２人分の料金が必要です。
※昼食は各自お持ちください。
人　数　20人（応募者多数の場合は抽選）
申込み方法
往復ハガキで参加者名・ふりがな（小学生の場合は保護者名も記入）年齢（小学生の場合は学年・学校名）住所、電話番号を記入し６月16日（必着）までに下記まで送付してください。

●申込み・問い合わせ
枚方市総合福祉センター　津田東町２-26-１
☎858-5835　FAX 859-5479

社会福祉協議会契約職員募集

ホームヘルパー（男性・女性）急募！

●問い合わせ　枚方市社会福祉協議会　在宅福祉課　☎ 841-6427　FAX 841-6429

応募条件 資格等	業務内容	条件等 時間	条件等 賃金
ホームヘルパー２級課程以上・介護福祉士等いずれかの資格所持者でバイク持ち込みできる方	家事援助・身体介護	６時45分～22時で応相談	時間給 1,250～2,400円（移動・事務手当有り）

●申し込み　月曜日から土曜日の９時から20時の間に電話連絡の上、本人が履歴書（３ヵ月以内の写真を貼付）と資格証明書を持参すること。

ケアホーム世話人（食事づくり）

●問い合わせ　地域支援センターゆい　☎ 808-2422　FAX 808-2423

応募条件	業務内容	条件等 日数及び勤務時間	条件等 金額・保険等
知的に障害のある方に理解のある方	食事づくり 必要に応じて利用者支援	週３～４日であらかじめ指定した日 16時30分～18時30分	時給 800円（労災保険）

●申し込み　月曜日から金曜日の９時から19時の間に電話連絡をいただいた後、面接日を設定いたします。　●勤務場所：枚方市都丘　又は　枚方市藤阪元町

心と心の橋わたし

【あげます福祉器具】

※不用になった福祉器具を必要とされる方へ寄付したいという申し出があったものです。器具の仕様等の詳細や受け渡し方法については、双方で直接話し合っていただきます。ご連絡いただいた時点で既に受取者が決まっている場合はご了承下さい。

☆ポータブルトイレ２台
（①未使用・キャスター付・リモコンで高さが調整できます）
（②パナソニック製・キャスター、防臭機能・ウォシュレット付）
☆拡大読書器（タイムズコーポレーション社・アシストビジョン100）
ご家庭のテレビにつないでご使用できます。

寄付者名簿（敬称略）
H24.2.1～ H24.5.15
【福祉基金】
☆匿名（3,000円）
☆パナソニックエイジーフリーサービス(株)（147,000円）(11,000円)
☆パナソニック愛松会　枚方北支部（13,876円）
☆匿名（1,500円）　☆匿名（236,629円）
☆関西リサイクルシステムズ（25,000円）

ありがとうございました

善意銀行
金品または物品を施設や団体等に寄付する時にお使いいただけます。また、不要になった福祉用品を必要とされる方へ寄付したい場合の橋渡しを行っています。

社会福祉基金
①「金銭を社会福祉に役立ててほしい」というお申し出があったものを、社会福祉基金として積み立てて、社会福祉事業に役立てていきます。
② 香典のお返し（一部または全部）をご寄付いただいた場合、本会の費用負担（寄付額の１割まで）にて、忌明挨拶状を印刷させていただきます。